

遙かなるイスタンブール

大トルコ展 文明と美術  
サドベルク・ハヌム美術館所蔵

主催：静岡県立美術館、静岡新聞社・SBS静岡放送、大トルコ展実行委員会  
 後援：外務省、文化庁、駐日トルコ共和国大使館  
 協力：トルコ航空  
 企画協力：株式会社キューレーターズ  
 協賛：JR東海  
 会期：平成14年4月17日(水) 5月30日(火)  
 休館日：毎週月曜日、ただし4月29日(月)、5月6日(月)は開館し、翌4月30日(火)、5月7日(火)は休館。

地中海に面し、イスタンブールを最大の都市とするトルコは、アジアとヨーロッパ文化の十字路に位置し、様々な国の盛衰と民族・宗教の交差をみた地域である。また宮殿と寺院と遺跡の国トルコは、ノアの箱舟、トロイの木馬、ミダス王伝説、アレクサンドロス大王の遠征、聖母マリア最後の地、十字軍など、神話と伝説に彩られた国としても知られている。

本展は、古代アナトリアからギリシャ、ローマ文明を経てセルジुक朝、イスラム文明へと続く7000年におよぶトルコの文明と美術を紹介するもので、彫刻・工芸・染織・宝飾品など、様々なジャンルから選び抜かれた600点を超える作品の中には、宝石が散りばめられた装飾品、優美な文様の陶磁器なども含まれてい

る。展示は以下のセクションにより構成された。

- プロローグ 女神・聖母・女性たちの7000年
- 第1章 トルコ美術の夜明け アナトリア文明
- 第2章 古典美と多神教 ギリシア・ローマ美術
- 第3章 イコンとキリスト教 ビザンティン美術
- 第4章 文様とイスラム教 セルジुक・オスマン美術
- エピローグ 儀式と美術 コーヒーセレモニー

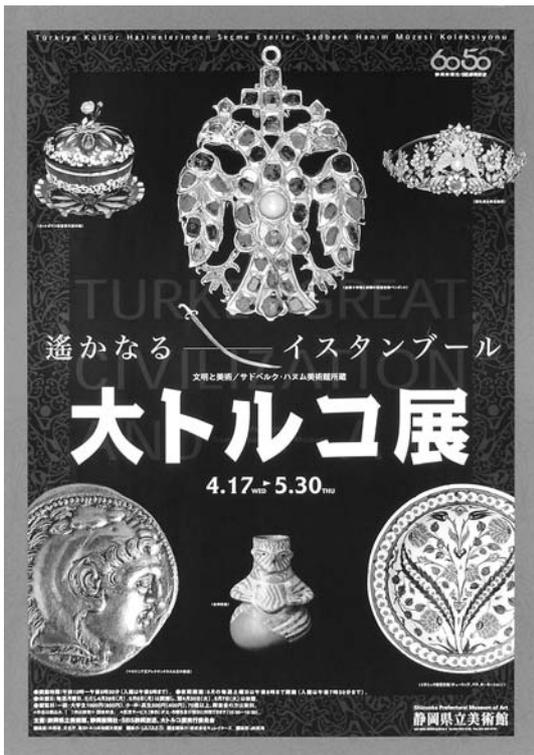
なお、4月16日の開場式には三笠宮崇仁親王殿下、同妃殿下、寛仁親王殿下・同妃殿下のご臨席をいただいた。観覧者数は予想を大きく上回り、6万人を超えた。休日には混雑が激しい時間もあり、アンケートでは鑑賞環境の面で不満をもたれた方もあった。特に音声ガイドの運営、番号表示の場所など今後に向け改善を進めるきっかけとなった。その他は概ねアンケートでは満足度は高く、トルコに対する関心の高さを示した。女性が観覧者の70%以上を占めた。新規来館者割合は意外に少なかった。

カタログ  
29.6×22.3cm 206p.

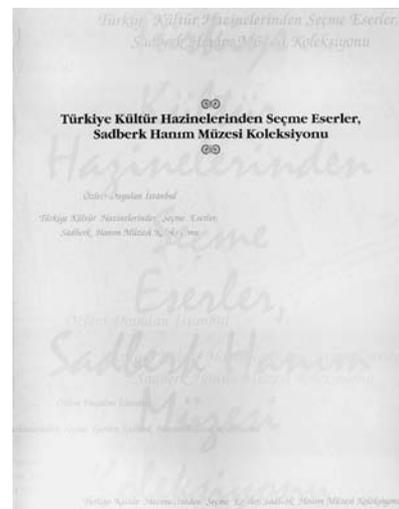
本文  
「トルコものがたり」中山喜一朗(福岡市博物館学芸員)

出品作品

女神形壺 彩文土器 高28.7cm 幅20.4cm 後期新石器時代 紀元前5250-5000年  
はじめ、総点数621点  
リスト省略(カタログ参照)



ポスター



カタログ